

聞いてきました！ まちの声

表紙によせて VOL.24

ミヤシノシャクナゲ園管理組合

つるだ ひろゆき
鶴田 博幸 組合長

もりまつ さだゆき
森松 定之 事務局長



ミヤシノシャクナゲ園は、平成12(2000)年に(故)田邊道康氏から星野村が譲り受け、4月から5月上旬にかけて約5千本のシャクナゲが咲きほこる奥八女の観光スポットです。今回は、園の管理運営をされている鶴田組合長(写真左側)と森松事務局長(写真右側)に、開園準備作業中の園内にてお話を伺いました。

管理運営に携わるようになったきっかけを教えてください。

本園は、田邊氏が長い期間をかけて山中に自生するシャクナゲを、自らの土地に移植して作り上げられた手作りの庭園です。現在は、市からの委託を受け、星野村上郷1区の役員を中心に地域住民の皆さんで守り育てています。

本日は、どのような作業を行っていたのですか。

4月10日からのシャクナゲまつりに備えて、来園者に安全に見学していただけるよう遊歩道の草刈りや補修作業、道路の清掃などを行いました。4月には、きれいな花が咲きほこる園内の散策をお楽しみいただけると思います。

きれいな花を咲かせるには、どのようなことに心がけてありますか。

日頃から愛情をもって見守ることが大切ではないかと思います。近年は気象の変化が著しく、干ばつや豪雨など樹体にとっても厳しい環境に

さらされます。木々の状況をよく観察し、適切な時期に適切な施肥を行うほか、稲わらを敷くなど樹体保護にも心がけています。

シャクナゲ園に携われた感想はいかがですか。

ここに来ると日々季節を感じ、花が咲きほこる春の幸福感が一番の喜びです。そこにお客様の喜ばれる声が聞こえた時は、何より嬉しく思います。樹齢や気象の変化等の要因もあるかと思いますが、最近は樹勢が弱って枯れる木が出てきており、全体に広がらないよう肥培管理に気を配っています。

市民の方へメッセージをお願いします。

4月10日から4月29日までシャクナゲまつりを開催し、5月2日までご覧いただけます。また5月3日には、来年の開花に備え、咲き終えたシャクナゲの花殻摘み作業を行う予定です。ボランティア作業にお越しいただける方は、何卒ご協力の程お願い申し上げます。【お問合せ先 星野支所地域振興係 : Tel.0943-52-3111】

編集後記

山は宝の山、田畑は生活基盤、商工業は町の華と言われた良き時代があった。戦後の復興から高度経済成長期は、日本全土において明るい未来があった。都会の急激な発展による人手不足のため、中学校を卒業したばかりの地方の若者は集団就職で親元を離れ、夜汽車に揺られ、故郷へ錦を飾ると町を出ていった。

時は流れ、地方では山や田畑の担い手不足が深刻となり、さらに商店街はシャッター街と言われる状況である。これを打開するには、残っている者で新たなふる里作りをしなければならない。地域で協働や知恵を出し合いながら、郷土愛を育み、人材育成に力を入れなければならない。

結局は、人が宝であったことを痛感する。

服部 良一

委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	広報委員会	議長	発行責任者
花下主茂	坂本治郎	久間寿紀	原田英雄	小山和也	高山正信	服部良一	水町典子	古賀邦彦		橋本正敏	

議会を傍聴しませんか？

次回定例会：5月26日(火) 予定

八女市役所本庁舎4階議場 午前10時から
議会事務局TEL: 23-4922

※日程は変更になることがあります。